**自己紹介**

金沢大学大学院 自然科学研究科 機械科学専攻 修士１年の三宅悠暉です．

私はロボティクスメカトロニクス研究室に所属しており，軟らかいロボットに関する研究をしています．

本日はよろしくお願いします．

**終わり**

本日は貴重なお時間をいただきましてありがとうございました．失礼いたします．

**自己PR**

・私の強みは、思いついたことをすぐに実行できる「行動力」です。

・私は常日頃、学生がアルバイト以外で、営業やモノづくりでお金を生み出す方法はないのか考えていました。よって、フットワークの軽さ・学生ならではの発想力を生かすために学生団体を立ち上げました。

・知り合いの教授や社長に営業をして、アプリ開発や業務自動化などの案件を頂くことが出来ました。また，小中学生向け・大学生向けのプログラム教室を独自に行っている．

・苦労した点は、お客様は何をしたいのかはあまり決まっていないこと。基本的には，こちらから詳細な内容を用意しないと，お客様は応えてくれません。そのため、お客様に合った提案をするため下調べや近年の動向を調査し、営業をかけました。それによって、お客様ももっとここはこうしてほしいなどとアドバイスを頂けるので、よりよい開発を行えるようになりました。

・一度失敗したのは、アプリ開発を行っていたときのことです。お客様と我々の認識が違い提示したアプリの仕様・機能などがまったく違うものとなり、お客様に迷惑をかけてしまいました。そのことから、お客様からの提案には「このような認識で合っていますか？」や「違う言葉に置き換える」などをしてコンセンサスをとることが非常に重要だと分かりました。

・営業のアポを頂けた場合は、お客様と色々お話をさせて頂く際に詳細に話を聞きだすことです。話をきくだけでは相手の要望は鮮明に見えてこない。よって、認識のすり合わせをすることが重要であると学びました。

・この経験より、思いを実行できる「行動力」があるのはもちろんですが、失敗を通してフィードバックができる人材だと思っております。

**志望動機**

・まず私のキャリアについて説明しますと，私が定年退職した後に地元(岐阜・金沢)で「ものづくり」という面から貢献し活性化に寄与したいというものがあります．

・そのためには，専門性の高い機械の知識を身に着けるのはもちろん，要件定義～保守までの知識を得る必要があります．また，他分野の知識も視野に入れる必要がある．

・そこで，御社はアウトソーシングを行っていることもあり様々な製品分野・職種を選択しキャリアアップすることができると感じたため．

・また，不足している知識は御社の豊富な研修制度を活用して，効率的にキャリアアップができると感じました．

・御社のベストマッチングシステムにおいて，自身の市場価値理解を深めることと，自身のキャリアをデザインできるという点に魅力を感じ御社を志望しました．

**研究内容**

* 私の研究は軽量で比較的拘束に作動しモータのような減速機構が不要なエアシリンダに着目しました．
* エアシリンダは主に生産設備に多く利用されており，金属製で高剛性・精密につくられるエアシリンダが適応する場面は多い．
* 近年ではアシストスーツのアクチュエータに利用されることも多くなってきている．
* ヒトという限られたスペースにおいてエアシリンダを配置するために様々な工夫が必要になる．例えば，部品配置など
* ヒトに触れる部分に金属製で高剛性なものはやはり不安を感じる場面も多い．
* そこで，曲げられる柔軟なエアシリンダの開発を行っています。
* 従来のエアシリンダはストロークを長くするとそれに伴ってエアシリンダが長くなってしまいます。
  + しかし、曲げた状態でも配置できる且つ、動作できたらどうでしょうか？
  + 技術者は不要な配置設計や部品選定に追われることなく設計できるでしょう。

**就活の軸とその理由**

・定年退職した後に「ものづくり」において地域に貢献できる人材になりたい

・幅広くかつ高度な技術を必要とする設計・開発を通して、自身が成長できるか

・キャリアアップの支援が手厚く自身の成長を効率よく行える企業

**挫折した経験とどう乗り越えたか**

・尊敬している博士の方に、「お前のできることはだいたい何でもできるしなぁ」と言われて、ぐうの音も出なかったこと。この挫折を経験する前は、自分は大体努力すれば何でもできると思っていた。実際、努力もしていると自分で思っていた。

・どれだけ起業・実践的な開発・部活で優秀な成績を収めることができていても、上には上がいることを人生で初めて知った。

・その経験から、自分の無力さを自覚するということを行った。自分は何が苦手であるのか、今自分が出来ていると思っていることは本当なのか？という問いを続けることでさらなる成長をするためのモチベーションへとつなげることができた。

**学生時代に力を入れたこと**

・アルバイトで、遺跡から発掘される史料のゲノム解析実験装置を開発したこと。

・他の大学や研究機関で様々な方が使用されることを想定→操作性・堅牢性

・国内外の遺跡で使うことも想定→モバイル性・堅牢性

・理由は、開発力が他の分野の役に立てるのではないかと思ったから。

・実験方法を学び、そこから「どこが」「どのように」自動化できるのか検討した。

・要件定義・設計・開発を行った

・ハードウェア設計だけではなく，装置を動かすためのソフトも開発した．

**長所と短所**

・長所：思いついたことをすぐに実行できる「行動力」

・短所：押しに弱い

具体的には，人から頼み事をされると断れない・困っている人がいると自分の時間を犠牲にして助けたくなってしまう．

**逆質問**

・御社・派遣先の方々と協力して仕事に取り組んでいきたいと考えています。そのためにも、派遣先の業務において何を重要視されているのか教えて頂きたいです．

・プライムなどの最上位のエンジニアの人に，何か共通点はあるのでしょうか．

・入社までに準備・勉強しておくべきことがあれば教えください

**ESについて**

キーワード

純粋：周囲の人に心から興味を持っている。

タフ：どんなに辛いことでも自分の成長に繋がるのであればへこたれない。

寛容的：言動や意見を一旦受け入れること。中立である。

共感的：他人の感情や経験を，あたかも自分自身のこととして考え感じ理解すること。

信頼される

緻密的：非常に細かく、隅々まで注意が行き届いている

会社の定義

・私は承認欲求が高いので、自分の能力を発揮でき人から認識されたい。

・また、組織である限りは多くの人が関わり合い、意見を交わしたい。

・私も出来ないことは多々あるので、助け合い支えあいながら仕事をしていきたい。

**周りから自分はどう思われているか**

初対面は怖いといわれるが、話してみるととても話しやすい。

後輩はもちろん先輩からも頼られることが多い

真摯に向き合ってくれる

**一人暮らししてよかったこと**

行動する上で、制限が少なくなったこと

知り合いの大人とも飲みに出かけたりするので、迷惑がかからない

釣りに行くときも

改めて母親の大変さを実感した。もともと母親とは不仲だったが、「お弁当つくるの大変なんだね」などと一人暮らしの大変さを伝えたら、仲が良くなった。

私が暮らすうえでどのくらい費用がかかるのか理解でき、暮らすためには様々な手続きがいるんだなと感じた

**人と接するときに意識していること**

初対面で怖いといわれるので、なるべく笑顔で楽しそうに話すようにしている

相手の意見をニュートラルで受け入れ、気になったことは質問する

否定から入らない、否定するのであれば「こうゆう意見もあるよね？」という

**コロナウイルスの状況に社会人としてどう立ち向かうべきか**

コロナ世代と言われる私たちではあるが、コロナのうちにしかできないこともある。

なるべくポジティブに物事を考え、コロナだからできることを探す。

特に電子機器は、巣籠需要が拡大したため売上が上がる傾向がある。

コロナならではの新しい世界を創造するのが社会人の役目ではないだろうか

**入社後の自分**

・「行動力」を活かして、様々な知識を様々な人から得て成長したい。

・プログラミング教室のロボットアームを設計・開発していて、自分のつくったものを子どもたちが触ってワクワク・興奮している姿を見て設計・開発にやりがいを感じました。

・また、筐体・基板設計やマイコンでの制御をすべて行いました。それらの経験を御社で活かし、こだわりの強いEIZOユーザーに対してワクワクをお届けしたい。

* ロボティクス分野で筐体の設計開発を行いたい．
  + 現在，ロボティクスメカトロニクス研究室に所属しており，基礎知識などは持っている．
  + そのため，環境が近いため業務に携わる際もスムーズに理解が可能であり，効率的にキャリアアップできると感じたためです．
* 自身の成長に繋がるのであれば是非海外にも行きたい．
  + 私が大学に編入したのも様々な価値観・思考に触れて多様化したかったから．
  + 私は海外経験がないので，是非行ってみたい．
* エンジニアとしてゆずれないものはなにか
  + なるべく小さな製品の「ものづくり」に携わっていきたい
* 最終面接メモ